

## 残雪の乗鞍岳

2012年5月27日(日) 晴れ

L : 和利(記)、横嶋S、lady、世田、岩倉

---

前夜発、風穴の里にて仮眠する。GWに比べて駐車車両は少なく幕営に問題は無い。ミーティングを済ませて0時に就寝。

7時前に三本滝駐車場に到着、準備を済ませ一休みしてから8時20分のバスに乗る。ほとんどは山スキーのお客で、登山者は見当たらない。登るにつれて雪が増え、30分ほどで位ヶ原山荘に到着。ここから上は、凍結のために朝一番のバスは行けないとのこと。

帰りのバスはこの上の肩の小屋まで迎えにくるらしい。



三本滝駐車場(朝寝中)



位ヶ原山荘前

バスを降りて道路脇から雪原に入る。目の前に富士見岳2817mと摩利支天岳2872mが聳えている。とりあえず山スキーの登山者に付いて進み、一登りしてから地図とコンパスで方向を定めた。どうやら進路を右に取りすぎたようで、摩利支天岳を左に回り込むように斜面をトラバースして、肩の小屋口のバス停にでた。一本取って剣ヶ峰3025.6mを目指す。スキー登山者の列があちこちを好き勝手に登っている。我々もまずは朝日岳2975m方向に登り、稜線にて進路を南に取って剣ヶ峰に向かう。



肩の小屋口バス停



稜線手前



後ろ姿の・・・ジエ



山頂から北アルプスを望む



剣が峰にて

山頂（剣が峰3026m）からは360度の展望。やや雲は多いものの南に御岳山、北に穂高岳、槍ヶ岳と眺めることができた。

この時期の乗鞍は山スキーの天国のようで、我々のような普通の登山者は極まれなようだ。確かにこの斜面を見るとアルペンスキーしか知らない私でも滑りたくなってしまふ。

下山は、岩倉さんはスキーで華麗に滑り降り、我々は雪まみれの尻セードを楽しんで一気に下った。バスの出発まで時間があつたため、位ヶ原の雪原でビーコンの使い方を練習した。

残雪の乗鞍岳での充実した一日であつた。



埋没ビーコン探し



あった・・・



GPSログでの軌跡(下山は直線的に下りていることがわかる)

<コースタイム>

三本滝駐車場(8:20)－バス－位ヶ原(9:00)－肩の小屋口バス停(10:15)－剣が峰(12:00)  
 －肩の小屋口バス停(13:15)－位ヶ原(14:00)－バス(14:50)－三本滝駐車場(15:20)

以上